

平成29年上半期（1月～6月）の犯罪情勢についてご紹介します。
県内でどのような犯罪が発生しているか把握し、自主防犯に努めましょう。

1 刑法犯認知状況（総数）

平成29年1月～6月の刑法犯認知件数の総数は

2,146件（前年の同時期と比べて169件減少）

で、戦後最少であった前年の認知件数（平成28年1月～12月の刑法犯認知件数総数4,659件）を更に下回るペースで推移しています。

2 包括罪種別の認知状況

凶悪犯（殺人、強盗、放火など）～	9件	（前年同期比－2件）
粗暴犯（暴行、傷害など）～	213件	（前年同期比－14件）
窃盗犯（侵入盗、乗物盗など）～	1,398件	（前年同期比－169件）
知能犯（詐欺、横領など）～	178件	（前年同期比＋25件）
風俗犯（強制わいせつなど）～	26件	（前年同期比＋2件）
その他（上記以外の罪種）～	322件	（前年同期比－11件）

**特殊詐欺を中心に詐欺の発生が目立ちます。
電話やメールでお金のお話が出たら詐欺です。気をつけて。**



3 増加した罪種（ワースト3）

1位・・・自転車盗	196件	（前年同期比＋44件、＋28.9%）
2位・・・自動販売機ねらい	37件	（前年同期比＋33件、＋825.0%）
3位・・・詐欺	164件	（前年同期比＋30件、＋22.4%）

4 減少した罪種（ベスト3）

1位・・・部品ねらい	14件	（前年同期比－43件、－75.4%）
2位・・・侵入盗その他	14件	（前年同期比－41件、－74.5%）
3位・・・車上ねらい	92件	（前年同期比－35件、－27.6%）

※侵入盗その他～ 「空き巣」、「事務所荒し」など手口分類がされている侵入盗以外の侵入盗をいいます。
具体的には、人が住んでいないような場所（空き家や神社仏閣など）での被害がこれに該当します。

5 自転車盗（196件中）の認知状況に関する分析結果
ここでは、今年、特に増加している自転車盗に関する分析結果を説明します。

- (1) 施錠の有無
自転車盗196件のうち、鍵を掛けていない状態での被害件数は156件で、その割合は79.6%となっています。
～犯人は鍵が掛かっていない自転車を盗む傾向にあります。～
- (2) 場所別
駐輪場での発生（96件）が最も多く、アパート・マンションの敷地内（22件）や道路上（20件）での発生も多くなっています。
～駐輪場に関しては、駅の駐輪場での発生が目立ちます。～
- (3) 被害者の学職別
高校生（49件）が最も多く、次いで大学生（31件）、中学生（14件）となっています。

**鍵掛けは、誰でも簡単にできる身近な防犯対策です。
家や乗物には鍵掛けを忘れずに！**

行楽地などでの置き忘れ・カギの掛け忘れに注意

夏期を迎え、行楽地に出掛ける機会が増えるシーズンになりました。

しかし、旅先で犯罪の被害に遭ってしまえば、せっかくの楽しい旅の思い出が台無しになってしまいます。

皆さん、

- ・乗物（車、バイク、自転車）から離れるときは、わずかな間でもカギをかける
- ・乗物に貴重品を置いたままにしない
- ・手荷物を置いたままその場を離れない

ようにして下さい。

